

(令和6年度) 指定管理業務に関する第三者評価結果

令和8年3月26日

施設名称	交野市立世代間交流センター（ゆうゆうセンター）
指定管理者名	社会福祉法人交野市社会福祉協議会
施設所管課	福祉部福祉総務課
評価者	交野市指定管理者評価委員会

1. 指定管理者の自己評価に対する意見等

自己評価については、市の評価との大きな乖離は見られず、概ね客観性を確保した内容となっている。日常的な施設運営の着実な実施については評価できる。また、市の改善要望に対する対応や、空調設備等の維持管理における効率化努力は認められる。

一方で、収支改善に向けた取組については、指定管理事業としてより一層のマネジメント強化が求められ、運営の安定性や利用者サービスの質の向上の観点から、継続的な改善を図られたい。

2. 市（施設所管課）の評価に対する意見等

総合評価をC評価としたことは一定の妥当性が認められるが、指摘事項に対する改善指導やフォローアップの具体性をさらに高めることが求められる。

令和7年度導入の予約システムに関する問合せ、植栽・駐車場管理、雨漏り修繕等の施設管理・運営上の課題については、指定管理者任せとするのではなく、設置者としての責任の下、改善を主導すべきである。特に老朽化設備への対応については、中長期的な修繕計画を整理し、施設機能の維持向上に努める必要がある。

また、収支が赤字となっている点については、改善に向けた具体的な方策の明確化が必要である。財務状況の評価にあたっては、単に税等の未納がないことのみでなく、組織全体の継続性や安定性の観点からも確認を行うべきとの意見があった。

福祉施設としての公共性を踏まえ、高齢者等の福祉機能と一般利用の両立を図りながら、老朽化設備の整備を進め、より公共性の高い施設運営を目指すことが求められる。

3. 改善に向けての指摘・提言等

収支がマイナスとなっている点については、原因を分析の上、事業収入の確保や交流ホールの稼働率向上など、具体的な改善策を講じられたい。市民負担の増加に配慮しつつ、持続可能な運営体制の確立が求められる。

また、世代間交流という設置目的を踏まえ、利用者の固定化の有無を検証し、新たな視点での事業展開を検討されたい。

安全対策については、指摘後の対応にとどまらず、予防的な点検・改善を徹底し、事故防止に努めることが求められる。さらに、指定管理者の財務状況については、毎年度の財務諸表確認を通じて事業継続性を適切に把握し、市と指定管理者との継続的な協議のもとで安定的な運営体制を構築されたい。